



田中雅博さん(橋)
悠太(ゆうた)くん
平成22年11月7日生まれ
139



発行所
福岡県建設労働組合
大牟田支部
〒836-0044
大牟田市古町3-2
TEL(53)1533 FAX(54)6830
発行・編集者 矢野 誠



石本支部長

年頭のご挨拶申し上げます
仲間と家族のみなさん、あけましておめでとうございます。
政府は、震災復興予算を12兆円とし、その

財源として民主自公明3党は所得税25年、住民税10年の増税を決めました。一方で、大企業に12兆円減税をするため、増税分は、大企業の減税分にあてら

れ、震災復興予算はあらゆる借金となります。その財源に消費税増税を押し進めています。大企業・金持ち優遇の政治は、崩壊寸前で私たちの仕事と暮らし

は、厳しさを増しています。
仕事と暮らしを守る要求実現にむけ、仲間を増やし頑張ってください。今年もよろしくお祈りします。



原田善治さん(父・60歳)

原田茂樹さん(息子・26歳)

善治さんについて、お父さんとして、仕事の先輩としてどう思っているかたずねると、

その期待にこたえ数年間修業したのち、ふたたび善治さんのもとで頑張っている茂樹さん。

26歳のとき軽天工の知り合いに声をかけられ弟子入りし、数年ほどで独立されました。現在は、現場における監督・施工を息子の茂樹さん(28歳)にまかせています。

趣味はゴルフで、福建労働ゴルフ愛好会の会長もされています。茂樹さんは、16歳から善治さんに弟子入りし20歳から他の事業所に勤めました。

ずっと親のもとに置いておくより、外で勉強させたほうが良いという善治さんの考えからです。

少し恥ずかしげに「尊敬しています」とこたえてくれました。

善治さんに茂樹さんについて聞くと「職人としてだけでなく、事業主としても、はやく一人前になってほしい。そのために現場はまかせようになっている」とのこと。

60歳の年男としての思いは「同年代の仲間にあすベストで亡くなったり苦しんでいる人がいる。今は健康だけど、仕事から自分もたくさん吸っていると思うので心配だ。仕事が極端に減ってきて、これから先どうなるのかといった不安もある。だけど60歳になる今年は年男でもあるので息子や仲間と一緒に頑張りたい」と元氣よく話してもらいました。

「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。

「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。

「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。

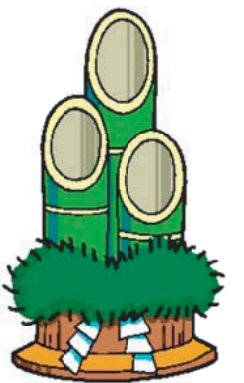
「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。

「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。

「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。

「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。

「あやまれ・つぐなえ」と国と企業を相手に賠償を求めて訴訟しました。人が人として報われる社会をつくるために頑張っていきます。



むしりころ

大震災後の国民の絆から、今年の漢字にこの「絆」が選定されました。みんなに呼び掛けた義援金も100万を超える額が集まり被害者の支えになりました。それにしても天災だけで済んでいたのなら、それこそ「絆」でもうとつくに復旧のメドがたっているでしょうが、放射能の被害を想定しない安全対策を置き去りにした原発推進してきた国と電力会社の責任は重大でまさに人災です。

▼人災といえ、アスベスト被害もまさに人災です。国と製造企業は知っておきながら私たちに、含有も危険性も何にも知らされず、ほとんどすべての建材に含有しており、直接、間接的に、飛散する現場で被ばくして20〜30年もたつて肺がんなどの症状となつて現れ、貴い命が奪われる恐ろしい被害です。